

## 第25回一宮市地域公共交通会議

開催日時：平成29年12月20日（水） 10:00～12:07

開催場所：一宮市本庁舎11階 1102会議室

（一宮市本町2丁目5番6号）

出席者

※会長・・・◎ 副会長・・・○

◎吉田 有夫、○加藤 博和、柴田 雄二、青木 隆子、葛谷 昭吾、鬼頭 渡、  
近藤 太康、加藤 絡、加藤 英代、松崎 俊行、仲西 由衣、伊藤 晴夫、小川 健司、  
近藤 博之、梅村 和行、長屋 光司、足立 浩智、岡田 英雄、八森 誠司、  
青山 博幸、塚崎 有里、長谷川 伸二、滝沢 文清

### 事務局

ただいまより第25回一宮市地域公共交通会議を開催させていただきます。皆様方にはお忙しい中、お集まりいただきましてありがとうございます。また、平素より市行政の推進に当たりまして、格別のご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。本日の司会を担当させていただきます交通政策室の松岡と申します。よろしくお願いたします。

本日は4月から11月までのi-バスや市内の名鉄バスの路線バス、i-タクシーの利用状況などを報告させていただいた後、協議事項といたしまして、「第2次一宮市公共交通計画の策定について」、「一宮おでかけバス手形の取り扱いについて」、「平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」のご協議をお願いしたいと思いますので、よろしくお願いたします。

それでは、議題に入ります前に資料の確認をさせていただきます。まず、本日机の上にお配りさせていただきました資料ですが、第25回一宮市地域公共交通会議の配席図と委員名簿。それから名鉄バスさんが路線図を新しくされたということで皆様方にお配りさせていただきました。こちらは名鉄バスの委員さんからお話があるかと思ひます。その他に事前にお送りさせていただきました本日の資料1から7までとなっております。資料につきましては以上となりますが、過不足ございましたらお知らせください。皆さんよろしいでしょうか。

それでは議題に移らせていただきます。この後の議事進行につきましては会長さんにお願いたしますので、よろしくお願いたします。

## 会長

皆さんおはようございます。今回は25回目ということで、年に2・3回やって約10年経ったということで、その間の皆様方のご協力があってこの会が継続できたということで厚く御礼申し上げたいと思いますし、今日は12月20日ということで年末のお忙しい中、今日は欠席者もなく全員出席ということで、この会に対する熱意の賜物ではないかと感じております。

それでは議事次第に沿って進めさせていただきますが、事務局からも説明がありましたように、本日の議題は報告事項として「一宮市内バス路線の利用実績」と「i-タクシーの利用実績」。これは後で説明がありますが、前回もそうでしたが増える方向の数字が裏付けとして出ているかと思えます。また、協議事項としては前回も協議いたしましたが「第2次一宮市公共交通計画の策定について」。これが本日の主要な議題です。それから「一宮おでかけバス手形の取り扱いについて」と「平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」となっております。

初めに報告事項に進みたいと思いますが、事務局から「一宮市内バス路線の利用実績」と「i-タクシーの利用実績」について一括してお願いいたします。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

ありがとうございました。それに関連して名鉄バスの近藤委員様から一言お願いします。

## 委員

資料3の弊社の一宮市内バス路線利用者ということですが、こちらに並んでいるバス路線は比較的好調というような説明がありました。当社全般ここまでの利用傾向としては、運賃箱のカウンタを見ますと沿線でも微増という感じですが、中でも一宮管内は非常に優秀で、毎月のように全社平均を上回る伸びを示してしまして、この資料とよく整合しているところでもあります。その中で深夜バスが減っているということですが、これは全社的な傾向でありまして、最近少し深夜バスは利用が低調かというところ。また、江南団地線がマイナスということですが、古知野線と重複している部分が非常にあるとい

うことで、そこと合算をしてみますと特に影響等は少ないと考えています。

## 会長

ありがとうございました。名鉄バスさんも含めて市全体のバスの利用状況等を全体的に見れば漸増、少しずつ増えているという状況じゃないかと思えますし、i-タクシーに関して復路が増えるという傾向としては、いろいろ心配しましたけれども、徐々に浸透しつつあるのかと思うところではあります。これに関連しましてご意見等ございますか。特にございませんので、報告事項については終わります。

それでは、今日の主要な議題である協議事項の1番目「第2次一宮市公共交通計画の策定について」に移ります。前回の会議では事務局から1次計画からの変更点とか2次計画の方向性、あるいは基本方針についての説明がありました。それに対して、基本方針を変更した部分では理由が明確になっていないとか、委員の方からご指摘やご意見がありました。そのご意見をもとに事務局としては計画内容の再考や修正を進めて、お手元の資料5として改正後の計画案が作られて事前に配付されたということです。ご覧いただいたと思いますが、前回と今回で大きく変更となっているかと思えますので、再度変更された部分について事務局から説明をしていただいて、その変更点を含め、それ以外の部分についても改めてお気づきの点もあろうかと思えますので、事務局からの説明が終わった後に皆様方から意見を承りたいと思います。では事務局、資料5の第2次一宮市公共交通計画（案）について説明いただければと思います。よろしくお願いします。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

事務局どうもありがとうございました。念のため僕からも順番に説明していきます。前回の会議で、例えば第2次の基本方針を第1次から大きく変更したような部分があったけれども、変更部分の理由が十分に書かれていないということがありました。そうした前回の会議における各委員からの主な意見というのも資料として出させていただいています。そのような意見等を加味しながら、もう一回計画を作らなくてはいけないと事務局としては考えるようになりました。

そうしたことがあった結果、今日の資料に、前回の会議でいただいた意見を参考に計画

編の構成や内容等を大きく変更させていただいたという資料があるかと思います。これを見ていただくと、「市内公共交通の特性と課題整理」という部分が削除になっている。それから関連計画等はⅡからⅠへ行っているし、左側の「計画の目標」とかが「Ⅲ 第2次計画の目標と基本方針」ということになっています。また、新規に「Ⅱ 第1次計画の評価と検証」という部分が追加ということで、ⅠとⅢの間に入ってきています。それを受けた形で事務局から説明がなされたところです。そして3枚目の資料にこういう構成に変えましたという内容が出ているかと思います。

そこで今から「第2次一宮市公共交通計画」をここで皆様方に諮る次第ですが、諮った結果で1つの案が出来上がります。それを1月から2月にかけてパブコメで市民への意見を求めます。次の会議のときには、市民からこういう意見が出ましたということで、修正すべき部分を受けて、次の会議でパブコメを含めた形のを皆さん方にご提案するという進行になってまいります。そこで今事務局から説明された部分について、ご意見等ございましたらご発言いただければと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

## 委員

愛知運輸支局の岡田です、よろしくお願ひします。前回から大幅に修正を掛けていただきまして、非常に意見を反映したものになっているなという感想はあるところです。

細かい点で申し訳ないのですが、2点ほどどうしたものかということで皆さんの意見をお伺いしたいところがあります。9ページに「第1次計画で構築した公共交通ネットワーク図」というのがありまして、5ページには「都市計画マスタープランにおける将来都市構造図」という図があります。前回の資料には「将来の公共交通ネットワーク図」というものも載せていて、この2次計画で確かにネットワークの整備という方針というのが出てくるのですが、やはり「将来像のネットワーク図」はどこかに載せたほうがいいのかという気がしておりますので、皆さんの意見を伺いたいところでありまして。

それからもう1点ですが、10ページの後に本日配付いただきました資料の2ページを挿入しますと説明があったところで、6ページのタイトル「Ⅱ 第1次計画の評価と検証」の中に4・5として現状の課題と目指す公共交通ということ盛り込むということになりますと、Ⅱの大きなタイトルに何か付け加えたほうがいいのかという気がしておりますので、そこも検討していただきたいと思ひます。

## 会長

ネットワーク図は前回の資料の何ページですか。

## 事務局

前回の資料お持ちでない方もいらっしゃるかと思いますので、今岡田委員がおっしゃいました前回資料のネットワーク図を配布させていただきます。

## 会長

もしこれを入れるとすると、将来の都市拠点配置と公共交通ネットワーク図なので、例えば2次計画のどこかへ入れるしか……。ここは第1次の部分なので、将来のことが入るならおかしな話ですね。

## 委員

よくあるパターンは基本方針と将来像というような形が分かりやすいと思うのですが、入れるところに迷ってしまう。ただ、将来像はどこかにネットワーク図があったほうがいろいろと見たときにイメージしやすいかなというのがありまして、意見を言っておきながら恐縮なのですが、13ページの計画の基本方針の次ぐらいに入ってくるのがイメージしやすいのかなという気持ちはしているのですが、ただ、この作りでこの図をここに入れるのがいいのかどうかというのは、ここしか私は思い浮かばないんですが。

## 副会長

今配っていただいたこの図は、前回だと5ページにある将来都市構想図の後ろにあったわけですが、まずこれは都市マスの図ですか。そうすると、ここでもいいわけですね。ただ全く別のこととして、一宮の場合は「一宮市公共交通計画」ですが、法律上は「地域公共交通網形成計画」なので、当然どういう公共交通網を形成するかという姿がないといけないので、あったほうがいいというよりなきやいけない。ないのがおかしいので、これに相当するけれども、この計画でどういう交通網を目指すかというご意見も出ましたけれども、あり得る場所としては20ページと21ページの間か、13ページと14ページの間、あるいは12ページと13ページの間、どれもあると思います。

要するに、今回の計画としてどういう地域公共交通網を目指すかという絵がないと、公共交通網形成計画としてとても抽象的に終わるといけないので、前回のを見てみるとなかったということですね、それに相当するのは、つまり都市マスの図をそのまま持ってきた

ということだからなかったということ。前はこれがあつたけど、これを載せると誤解を受けるかもしれない。私もその時は確かにこれをこの計画の公共交通網だと思ったかもしれない。これが5ページにあるということは、この計画じゃなくて都市マスから引用してきたと引用を書かなければいけなかった。5ページでは「都市計画マスタープランにおける」と引用があるんですが、今配っていただいたのはどこかの引用なのか、この計画のオリジナルなのかわからない。多分都市マスから持ってきたと思うけれども、これは1次計画から持ってきたんですか。その辺をちゃんと整理しないといけない。

## 事務局

先ほどお配りさせていただきました図は確かに都市マスの図ですけども、去年、一宮市都市計画マスタープランを改定しております。その改定の際に公共交通とリンクさせるということで、1次計画にあった図を都市計画マスタープランの中に入れ込んで、多少変更して都市計画マスタープランの図としても使っていたということですので、今副会長さんがおっしゃられたように、1次計画の図ほとんどそのものがマスタープランにも載っているということです。

## 副会長

とすると9ページの実際できたものと、配っていただいたものを比較して大体できているの、できてかないのかというのを総括しないといけない。1次でやろうとしていたのにできていないところがどこかというのを見て、2次でやるのかやらないのかを言って、さらに2次で新しく追加するところはどこかというのを踏まえて、2次のこの図がさっき言ったどこかに入らないといけない。どちらにしても今回の計画の中にこの図は絶対必要で、1次のほうにこれを入れるのはどちらでもいいと思っていますが、より万全を期すのであれば、9ページの実際に構築した路線と計画の路線とどう違っているかというの言っておいたほうがいい。そうでないと、1次で挙げていたのに実際やったかやっていないかをチェックせずに2次の計画でこうだと言うと、前の計画は何だったのかということになる。いろんな図が出てきて混乱するんですが、これは図の説明をちゃんと「1次計画における公共交通ネットワーク（案）」みたいに書いて、9ページのものを実際に構築したものを書く。12ページ以降に入れるのは、「本計画で目指す…」ときちんとタイトルを書くことが必要。といっても基本的には変わらないんですよ。基本的には変わらないということもどこかに書いてありましたか。

## 事務局

13ページの「計画の基本方針」のところで、説明の冒頭に「第1次計画で構築したネットワーク体系をもとに…」ということで、言葉で表記させていただいております。

## 副会長

この第1次計画で構築したというのは、構築できたということですか。第1次計画で立案したじゃないですか。立案したけれども、できていないところがあるのもっと頑張るということなのか、もうできちゃってそれをそのまま続けるのか。そう見ると、今の図だと丹陽はどうなのかという気がします。

## 事務局

言葉はうまく表現できているかわからないのですが、7ページの「1次計画の基本方針の達成状況」という1次計画でこういうことをやりましたというまとめのところで、基本方針1の実施状況に「一宮駅を中心とした公共交通のネットワーク体系を形成した」ということで、事務局では作ったという判断をさせていただいて、こういう表現をさせていただいております。

ただ、評価のところに3点ありますけれども、一番上はおおむねできましたが、下の比較的狭いところにはネットワークでカバーできない地域が残っていますというふうにも判断をさせていただいています。丹陽が残っているところにつきましてはたしかにそのとおりなのですが、今、丹陽はそれをカバーするために地域の協議を行っていただいておりますので、その部分につきましては2次計画の中にも、現在丹陽では協議を行っていただいておりますということを計画の中に盛り込ませていただいております。

## 副会長

なので、おおむね完了という評価ですけれども、おおむねと書くということは全部はできていないことを意味している。例えば丹陽のこと。それは悪いことでは全然なくて、やろうとしているけど全部はやっていないというだけのことだし、計画は短いピッチの改訂なので、当然精査しなければいけないからやっているの、今おっしゃたように例えば丹陽はそういうことで今も検討していますということで、12ページ以降のところと同じ図でもいいので再掲して、変わってなくておおむねできているけど、できていないところ

と、7ページで挙げたような課題を解決するために、こういうことをやっていくということを入れたほうが良いと思います。そうやって考えると5ページには入れないほうが良い。5ページに入れると混乱がある。

これが1次計画と変わっていないというのがとても重要な事実だと思います。ここが変わるといってちょっと大きいけど、ここは変わらないし、できてきて大分いい方向なんだけれども、まだ一部は残っています。それから細いところがあります。ということで、この大事な図は変えないでいきますということを書いたほうが良い。これがないと15ページ以降は抽象的になります。

それから拠点は何となくではなくて、市役所なら市役所と書いてあるほうが良い。あるいは市役所周辺とそのくらいは書いておいたほうが良い。大体こういうふうに丸を書いているのは、この辺として特定しないでぼやかしているんですが、実際に走っているなら、ぼやかさずに特定すべきことです。全く固まっていないのだったら用地とかもわからないので特定できないのですが、実質的に路線として9ページに出ているようなものだったら、9ページに具体的に出ている、今度の計画はまた何かいじるのかと見えてしまいます。だから大事な拠点は地名だとか拠点名を書いておいたほうが良いと思いました。

## 会長

この図に関しては12ページ以降のところ、拠点名なども入れる形で検討してほしい。その場合の文章的な部分については事務局で検討してもらいたいと思います。

岡田委員さん、もう1つは何でしたか。

## 委員

今回差し込んだページがあって、それは「4. 都市特性とニーズから見た現状の課題」と「5. 第2次計画で目指す公共交通」というものを盛り込みましたという説明がありまして、そうなってくると、IIのタイトルが、このタイトルでここまで載せるのが良いのかどうか、タイトルにもう少しその辺りの表現を付け加えたほうが良いのではないかということでした。

## 事務局

岡田委員がおっしゃられたように、内容と整合するような形で表現を見直しさせていただきたいと思いますので、お願いします。

## 会長

では事務局そのような方向で検討よろしく申し上げます。それ以外でご意見等ございましたら。

## 副会長

28ページに交通不便地域の人口割合がありますけれど、ゼロというのはなかなか言い切れないような気がしますけど、これは可能ですか。逆に空白でない地域が99%というのは結構あって、そうすると100%じゃないけれどもかなりできたということですが、100%できているというのはすごいと思いますが、自信を持ってできますか。

## 事務局

数字上はゼロということですが、目標ということで、限りなくゼロに向けて努力していきたいということで、あえてゼロというふうに表現させていただいているということで、ご理解いただきたいと思います。

## 副会長

普通の行政はできない可能性がある目標は書かないと思うので、普通は100%にしないでちょっと下げるのですが、一宮市役所はとても志が高いということで了解です。でも、実際に本当にゼロにしないといけないかどうか、ちょっとわからないところがありますよね。非常にここはどうなのかというところまで全部カバーするのはいいのかどうかというのは、注意しなければいけないと思います。

もう1点、29ページの「計画の評価・検証」のところですが、冒頭に「地域・交通事業者・市の三者がそれぞれの取り組み結果の評価を行います」とありますが、地域は取り組み結果の評価をどこで行うのですか。交通事業者はわかる、市もここですね、地域が評価するというのはどこでやるのでしょうか。

## 事務局

例えば、萩原のほうですと交通協議会、他の地区でもそういった協議会等がそれぞれi-バスの運行地域にございますので、年に1回以上定期的に開催しまして、利用状況等の報告ですとか改善方法を協議していただいておりますので、そういった場を想定しております

す。

## 副会長

今までこの会議でそういう内容は出たことはないですよ。例えば松阪市だとそれぞれの地区で協議した結果が全部出てくるんですね。できれば代表の方がそれをしゃべっていただくということをやっています。これだと具体的にどうやるか何も書いていないということです。1年に1回くらいは会議を開いていただいていますというなら、具体的に「1年に1回開いてもらう」と書かないと、今いる人たちはわかっているけど、人が変わったらそんなのあったかなとなってしまう。題目にしか地域が評価すると書いてないので、具体的にどうやっているのかを書いておかないと空文になってしまう。今やっていることを書けばいいと思います。無理なことをやるんじゃないし、私が思っているのは、この後リーダー路線の評価が出てきますけれども、こういう数字というのは地域で見えてほしいなというのがあるんですよ。これは多分第三者評価委員会で聞かれますけれども、勝手にこの協議会でしゃべっているけれども、地域の人たちはそんな目標を知らなかったとか、AだとかBだとかついているけれども、うちは頑張ったのに我々が反論する機会もなくCが付けられて何なんだというのは困る。やっぱりこれを見て目標が達成できなければ我々はCで仕方がないね、だから来年に向かって頑張って見直そうねというふうにならなければ、意味がないです。そういう意味では地域でどうやって評価しているかというのは大事なので、これは何も書いていないので書いてほしい。

## 会長

そこについては事務局側で文章を入れて、前向きに検討いただければと思います。それ以外で何かご意見ございますか。

念のため僕自身も今回文章をいろいろ読ませていただきました。字句の統一が成されていないところがいろいろございます。例えば、12ページの計画の目標では「地域、交通事業者、市が連携し」というところは「、」になっていますが、基本方針は「・」になっています。そういう字句の部分で両方入り混じっている部分がございます。これはパブコメにも諮るわけですから、字句の統一をまず32ページまでのところを含めてきちんと訂正をお願いしたいと思います。

それから資料編も見せていただきました。どことは申しませんが、資料編で数字が間違っているところがございます。これは事務局側に伝えてありますので、そういう資料につ

いて、あるいはアンケートの表についても、出ている表が自分たちが作ったもとの表と同じ数値であるのかという部分についても、きちんと確認をしてもらいたいと思います。これはしっかりした計画書になるわけですから、市長の写真も入っていますので、その点は事務局よろしくお願ひしたいと思います。

## 副会長

今「地域・交通事業者・市」というのが出ましたが、地域とは何なのかということがあります。例えば連区というのがあるじゃないですか。一宮の計画だったら連区という言葉があってもいい。計画の中で地域と書いてあるのは、なぜそこでぼやかしてしまうのかなと思います。地域にもいろんな組織があるし、いろんなやり方もあるのですが、そこを地域と言ってしまうと無責任になる恐れがあるのではないかなと。

同様に市もそうです。市だっていろいろあるでしょ。昨日も国交省にいましたけれども、縦割りがとにかくいけないんだと、まちづくり部門と交通部門と福祉部門と教育部門といろんな部門が連携してやらなければいけないんだと、横串を刺さなきゃいけないと。そこができていないのが問題だと言っているんです。そこでこの計画に市と書いてあるけれども、できているのかなというところです。実はあまりそこは考えていなくて、市としているだけかもしれない。そこはもう一段それぞれ皆さんに考えてほしいところで、地域と言っているけれども、具体的には何の組織が動いて、どうやって決めてどうやってやるのかというのは、もうちょっと考えたほうがいいと思うし、市もいろんな部門がありますので、私がやっている網形成計画の中では「市」と書かないで、具体的な課名まで「市〇〇課」と書いてあります。「市（〇〇課と〇〇課が協力）」と書いているところもあります。そうやって書くには協議をしなければいけない、それが時間が掛かるから書かないというのはありますけれども、書いた方が必ず動きができる。市役所内でどういうふうに行っているのかわからないけれども、ここに書いてあるけれども知らなかったというのは困るので、市役所内でもよくあることです。そこはやるとしたら、もうちょっと具体的にどこの部局がやるかというのも書かれたほうがいい。

そのことも含めて地域と書いてあるのは、こちら側に地域の皆さんがおられるわけですが、全部地域ですかね。地域と市民もまた違いますけれども。自治体によっては組織の名前を書いてもらっているところもあります。具体的に〇〇連合会でこれはやるとか、利用促進だったら、当然そういうことは実際に会議に参加しているここで議論して、持ち帰って実行して、やった成果をここで出すとか、今これからこれやろうとしていて、我々

がやるので皆さんもぜひ宣伝に協力してくださいというのがある。これも地域となっていると人ごとになる可能性がある。こちらの皆さんは極端には自分の名前が書いてないのはまずい。自分の名前が書いてあって初めてここの委員として役割を果たしている。警察さんはありますよ、役割を果たそうとしてとても有難いわけですが。例えば道路管理者さんは何で書いてないのか。「地域・交通事業者・市」と言っていますが、もう少し特定したほうがいい。これは皆さんが自分の名前を書いてもいいとか書いてくれと言ってくれないと、つまり自分が何をやるのか、さらに皆さんに見ていただいて書き加えていただけるとこの計画が実効性を持つてくる。ちなみにそうやって言うと、お前の名前はどうなんだと言われるのですが、必要があれば書いてもらっていいです。

## 会長

その地域のところに、例えば丹陽とかを入れ始めると、14ページの「施策1 ネットワークの維持・機能強化」の地域となると、ほとんど全部になりますね、全地域とは言いませんが。

## 副会長

「〇〇連区」という地名とかは想定していなくて、いわゆる自治会だとか、今並んでおられる老人クラブだとか。

## 会長

地域に代わるべき言葉となるとなかなか難しいだろうと。これが丹陽だけの問題であれば、それは地域でなくて丹陽でもいいかと。

## 副会長

例えば22ページに「高齢者訪問事業や老人会などを通じた利用啓発」とありますが、これだったら老人クラブという名前じゃないですか。これが4つ全部合わせて「地域・交通事業者・市」だったら一体それぞれ誰がやるのか、勝手にやってねとなる。逆に高齢者訪問事業といたら、市も高齢者の部局が入るでしょう。だったらそこを通して高齢者の部局の名前を書いて、老人クラブも書いてとやっておかないと、十把一からげで「地域・交通事業者・市」だったら、できるものもできないので、そうじゃなくてネットワーク云々というところは地域として書かないといけない。

## 事務局

ありがとうございます。今おっしゃっていただいたことは確かにそのとおりでして、実際に事業をやって行く上で誰が担当していくかとか、誰が動くんだというのは大切なことだと思います。ご意見をお伺いしながら思ったことは、ここは確かに漠とした感じになってしまうのですが、これからこの計画に沿いまして、毎年個別計画、利用促進なら利用促進の計画を作りますし、そちらのほうの計画の中でももう少し具体的に、今年はどこがタイアップしながらとか、そういうことを書き込んでやっていくという表現をしたほうが、ここで完全に向こう5年間どこが担当がということを書いてしまうのは、少し抵抗があると思いますか、柔らかく運用できるような形を取っていけば、そのほうが運用がいいのではないかと感じました。

それから、先ほど副会長さんがおっしゃっていただいた誰が責任を持つのかということろにつきましては、92ページに、この計画を作っていたいただいた今回ご出席いただきました委員さんが、どこの代表でどなたがこの計画を作っていたいただいたかということは書かせていただいております。私は知らないという問題ではないのですが、こういった方々でこの計画を協議して作っていただきましたということがわかるような形は取っておりますので、ここの表現は現状の案で進めさせていただけたらと事務局としては思います。

## 副会長

計画なので、この内容でちゃんとやらしてもらえば全く問題ないです。ただそれだけ。僕は他のいろんな計画の中で、これを本当に5年間やれるのかというときに不安を抱きます。

「地域・交通事業者・市」という抽象的な書き方で、人もだんだん変わっていく中でやれるんですかと。そういう感じで5年間やって、5年後に見直しするときにそういうのを忘れちゃって、計画に書いてないと、5年後の人はそんなのあったんですかと言いますよ。

5年後これを見たときに5年の想いでしゃべれるだろうかという、そこを考えないといけない。5年後に改定するときに、この担当者に聞きにいかなければいけないというのはまずいでしょ。この内容で受け継がなきゃいけない。現実には5年前どんな人だったのかというと、特に行政はわからないでしょ。そういうのも含めてちゃんとやれるんだったら問題ないです。

## 事務局

この「地域・交通事業者・市」という表現をそれぞれの施策に応じて、例えばこの地域はさっき言われた老人クラブがメインとかを使い分けていくというのもちょっと……。

## 副会長

やり方は何でもいいですが、書けないところは地域でもいいと思います。当然それでいいと思います。書けるところは書いた方がいいんじゃないですか。「地域（老人クラブ）」とか書けないかと。それを書いてないと、結局人が変わったら、そんなのあるんだとなってしまうので。計画に書いてあればやらなきゃいけないと、前任者もそう納得して書いてもらったからやらなきゃいけないとなる。一々ちゃらになってしまうのは計画としてまずいだろうと。全部見直して、これはこのくらいしか書けない、これは明らかにこの人だから書いておいたほうがいいので、本人もそれでいいと思っているという、そういう精査をしてください。

## 事務局

1 2 ページのタイトルのところで細かく書くのはちょっと厳しいんじゃないかと思えます。ただ、それぞれの基本方針の中、例えば2 2 ページに基本方針2の実施主体として同じような表現で「地域・交通事業者・市」というのがございます。それぞれに対して副会長さんからご指摘いただきましたように、ここをメインにどこが担っていただくか、どういう形で進めていただくかということ、それぞれのところに入れるのか注釈になるかはわからないですが、ここで表現できるように検討させていただきます。

## 会長

時間の関係もありますので、まだ皆さん方ご意見等あったらお受けいたしますが、ここでの修正案についていろいろ出てまいりましたが、最終的にパブコメにかけるためには修正せざるを得ないと出せませんので、今のことを含めましてそれについては私と加藤先生が責任を持つと。このために会議をやるということは、1月早々からパブコメをやるには時間がございませんので、そこだけご了承いただけないかと思えます。それでパブコメにかけるようにしたいと思いますので、ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。議題についてはここで終了としておきますが、まだお気づきの点があったら、これを言い忘れていたとかがありましたら、すぐに事務局へ今日か明日中には連絡を取ってください。それを受けてパブコメに入れるかどうかは検討したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

ます。基本的には一部変更いたしますけれども、案についてはご了承いただいたということでお願います。

それでは2番目の協議題の「一宮おでかけバス手形の取扱い（案）について」に移ります。もちろん来年度の分ですが、「一宮おでかけバス手形」については名鉄バスさんだけではなくてi-バスでも利用できる乗車券となっています。この取り扱いについては皆様方の合意が必要となってきます。意見を聞いた後でお諮りいたしますので、よろしくお願います。それでは事務局「一宮おでかけバス手形」についての説明をよろしくお願います。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

どうもありがとうございました。これに関連しまして名鉄バスの近藤様、お願います。

## 委員

「一宮おでかけバス手形」は非常に好評ということですが、一応先ほどの計画でも5年先までこのような商品をやっていくという規定がされていますけれども、取り扱い上、やはり1年ごとの更新という形を取っていただけたらと思っておりますので、よろしくお願います。特に社内でもこういうことに協力することに対して異存はないのでいいのですけれども、重大な問題等が起こったときには柔軟に対応をしたいので、その辺だけはよろしくお願います。

## 会長

この制度がある限りは毎年諮るようにしていきたいと思いますが、「一宮おでかけバス手形」についてのご意見等ございますか。それでは皆さん合意ということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

では了解されたということで、事務局よろしくお願います。

なお「一宮おでかけバス手形」については、もっともっと宣伝をいろんな会で、地域だけではなくて、老人会であるとかそういうところでもっと皆さん方で宣伝いただいて少し

でも利用が増えるように。相当お得になってくると思いますので、ご利用いただければと思います。

それでは協議事項の3番目、「平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について」です。一宮市では国の地域公共交通確保維持改善事業を活用して生活交通の維持確保に取り組んできております。国から支援を受けた事業についてはこの協議会において事業の実施状況の確認・評価を行い、評価の結果を中部運輸局へ提出することが求められております。さらにここでの評価が中部運輸局の第三者評価委員会の場で評価を受けることになっております。聞くところによると、今年度の中部運輸局の第三者評価委員会は2月21日だそうであります。当然それまでにということですから、1月中旬までにはこの評価を出さなくてはならないということで、今日のこの議題になったわけでございます。それでは事務局からこの事業評価について説明をしてください。

## 事務局

<資料説明>

## 会長

基本的には国交省へ出すものですが、最後のページは愛知県へ提出するものと理解してください。資料7のところ、評価した場合においてはBのものが1つございますけれど、基本的にはAという評価です。それから中部様式1というのが全体的な部分のものでして、中部様式2がフィーダー路線ですので、萩原の路線などが入っていてA評価ということですので。今回これを1月18日までに中部運輸局へ提出するという予定ですが、これについてご意見等ございますか。

## 委員

いろいろあって恐縮なんですけど、4ページの中部様式1について会長からもお話がありましたように、第三者評価委員会というところで先生方、私どもの幹部を含めてフィーダー的補助路線だけじゃなくて、ネットワーク全体を自己評価してやっているかということでアドバイスをいただくもので、中部様式に基づいて5分説明をして、5分間先生方から意見をいただく貴重な機会ということで、これに基づいて説明をしていただくことになっております。

戻っていただきまして、1ページに路線ごとの評価と効果達成状況がBとAに分かれて

いるところでありまして、それでBとAの達成状況を分析して改善するというのを⑥に書くところなのですが、同じ形でそれぞれ分けて、特にBのほうをもう少しこ入れするような改善等を具体的に書いた上で、全般的なPRも踏まえた形にしていきたいということがあります。

それから5ページですが、第2次一宮公共交通計画でもネットワーク図がありました。ここに書いてある図がこれでいいのかということと、やはり今度の公共交通計画の方針・目標・期間もここに入れて、それでネットワークを整備構築していくことがわかるように書くべきでないのかなと。

それから6ページの評価に関する事項ということで、実績だけじゃなくて評価指標・目標値を入れるべきではないのか。

7ページ、取り組み内容として一宮市さんはかなりやってみえるところで、少し絵柄を用いるほうがいいのかということもあるのですが、いろいろ飛んで申し訳ないですが、公共交通計画の7ページに「第1次計画の基本方針の達成状況」という項目がありまして、いろんな事業を行っていますので、取り組み内容にはMM的なものが主になってしまって、事業を行ったことをもう少し書き入れた方がいいのではないかとことを思ったところでは。

9ページの「取り組みに対する評価」ですが、これは目標値、実績値、達成がわかるようなものを載せないと分かりづらい。i-バスだけでいいのかなというところもちょっと思っております。そして4番の評価のところでも得られたものを5番で分析した結果、方針や対応策、方向性まで示せればいいのかと感じております。

あと13ページの「アピールポイント」で萩原町連区とありますけれども、やはり丹陽地区も立ち上げているようなことであったり、i-タクシーがアピールと言えるかどうか分かりませんが、交通網を作ってきているということもどこかで書いても。全体にi-タクシーのことに触れていないというところも少し検討してはどうかと思います。いろいろたくさん言いまして申し訳ないですが、以上です。

## 会長

それに関しては事務局側で前向きな方向で修正いただければと思います。評価についてご意見等ございますか。

## 副会長

このためにあまり新しい分析はしないということが大事で、資料5の10ページにあるような、こういうのは必ず入れないといけないのですが、今ですと6ページが僕は資料5の10ページが入るところだと思っている。というのは、計画の達成状況の評価に関する事項だから正にこれです、それなのに関係ない資料なのかが不思議。もちろん確保維持改善事業は路線ごとの評価もあるので、これも載せたらいいのですけれども、当然これは本省様式の中で1ページもニコニコふれあいのところの目標・効果達成状況で平成28年度目標がプラス1.0%だけ実績がマイナス2.0%だったというこの数字が書いてないといけない。達成状況の評価だけど、これは達成状況は何も評価していなくて、ただ単に何人か書いているだけで全く達成状況の評価になっていない。だからちゃんと補助路線と書いてあるところは全て目標があるはずなので、書いてないのはおかしいなど。

そのことから派生して気になったのが、プラス1.0%という目標と、資料5の10ページの市内バスの年間利用者数、あるいは幹線・準幹線の目標がこれと整合しているかどうか。つまり当然ながら、各路線の利用者数の目標の合計値が全路線の利用者数の目標になっていなきゃいけないので、こっちはプラス1と書いてあるんだけど、資料5の10ページではプラス1になってないとしたら、これは二枚舌です。そういうことはやめてほしいというのが、第三者評価委員会としてお願いしていること。その一貫性はちゃんとしていただきたいと思います。そういう意味では6ページに書くのか、9ページに書くのかはわかりませんが、多分9ページに書くことになると思います。6ページはさっき言ったように資料5の10ページを持ってきて、具体的取り組み評価というところでちゃんと目標と実際達成できているかということを書く。

そして、千秋もここに書いてあるんですが、当然これもずっと言い続けていることですが、補助じゃないので目標が曖昧だとか評価しないというのはおかしなことで、千秋は国から頼まれていないから何でもいいということは全然ない。だからちゃんと評価をしなければいけませんけど、本省には申告しなくていいだけのことで、中部としては申告してほしいので、千秋についても目標があって達成しているのかがどうかがあるのであれば、ちゃんとここに書いてほしい。ただし、補助路線ではないということは書いてください。イオン木曽川線の場合は補助路線だけど、名鉄の路線なのでここにはないわけですけども、書けるんだったら書いておいてもらったほうがいいかなと。14ページのところはi-バスしかありませんが、どうせ県のほうでイオン木曽川線は同じ評価が出るので、それを書いておいてもらえるといい。要は網計画であるとかで評価している内容と、こちらの内容が一貫していない。これが一番困ることです。全然違うことをやって事務量が増えたと言われ、

一方でせっかく計画を作ったのに、計画で目標として掲げるものを使っていないというのは、非常に困るし本末転倒で、仕事だけ増えているので、ちゃんと一貫してやってほしいと思います。

それから、網計画の改定を予定しているということはどこかに書いてほしい。

## 会長

事務局その辺のところを含めて、よろしくお願ひしたいと思います。

## 副会長

この評価はさっき言ったように、地域にはちゃんと投げているんですか。今年度まだやっていないので、来年度からやるというのが2次計画ということでもいいのか。それとも、もうやってここに書いてある今後の改善点等は地域の皆さんもわかっているのか。僕としてはわかってもらいたいですし、それ以前に目標もわかってもらいたいです。

## 事務局

目標値についてですが、いろんな地域でバスの協議会をやっていただいています。i-バスの尾西とか木曾川地域につきましては目標値を地域にはっきり示してないですが、利用状況がものすごく伸びている状況ですので、今の状況で引き続きお願いしますということ、利用促進を地域ごとにまたお願ひするという、そんな運びです。

萩原につきましては、昨年度からですが、少し落ちてきているのを地域の皆さんも十分把握していただいております。来年度から新しく利用促進策を地域で取り組むということで、いろいろ考えていただいておりますので、そういったことでまた対応していただくという協議を地域でしていただいております。

## 副会長

第三者評価委員会の質問としてよく出るのは、1%の目標なのに10%くらい行っているというのは、目標がおかしいんじゃないかと。地域と話し合ったら10%増加しているんだったら、来年は5%くらいにしておかなければいけない。そういう見直しはしていないんですかと聞かれるわけです。いやいや1%と決めているので、1%ですということを言われます。なので、1%と設定したのに10%くらい行っているので、逆に聞くと、そんなに低い目標だったら達成しているからもう何にもやらなくてもいいと思われると困る

から言わないという選択はありますけれども、もっと前向きに10%行っているんだったら、次も10%で行こうよという目標のほうがいいと思います。

## 事務局

現状の地域——特に尾西や木曾川のほうは、実は利用状況が全部落ち気味のところでコース変更をしましたので、コース変更を皆さんで周知していただいたり、利用啓発していただいて上へ向けましょうということでした。その時点から何%増やしましょうとか、具体的な数字を目標にして皆さんに活動していただいたのではなくて、まずは地域に知ってもらおうということからやり始めたのですけれども、これで27年から2年近く経ちまして、利用状況は逆にびっくりするくらい、前年比で10%くらい上がってしまうというところで、今10%上がっているのに12%にしましょうというのは、なかなか私どもは言いづらい部分がありまして、今の上げ基調をそのまま引き続きながらやってくださいというお願いの仕方をさせていただいております。

## 副会長

ちゃんと地域でその目標を共有してくださいと言っているだけで、10%だから次も10%で行けということなのか、いや手堅く行こうというのは地域で考えてもらいたいということですね。

## 会長

ご意見ありがとうございます。これで評価に対して協議は終わりたいと思いますが、皆さん方からいただいた評価についてのご意見等については、最終的に私と加藤先生に一任していただいて、事務局と相談した上で資料として提出していきたいと思いますので、よろしくお願いします。

時間の関係もあるんですが、名鉄バスさんから路線図の資料をいただきましたので、説明をお願いします。

## 委員

先々回くらいに西部地区の路線図を配らせていただいたかと思うんですけれども、新しいものができましたので、情報の共有ということで配らせていただいております。今回は地域ごとをやめまして全線一律で非常に大きくて申し訳ないのですが、逆に愛知県内の当

社の路線を見まして駅を中心に放射状に延びているんだなというところを見ていただければと思います。意外にバスっているところへ行けるんだとか、バス停とバス停は繋がっていてネットワークを作っているんだと、そして今回は地域バス、コミュニティバスは載せていないのですが、そこにまた毛細血管のようにいろいろな地域のコミュニティバスが繋がっておりますので、相当いろんなところに乗って行けます。

初乗り170円ですが、バスは運賃が高いじゃないかと思われるかもしれませんが、この路線図の裏面には「得々バス」という切符、この前も説明させていただきましたが65歳以上の方には払い切りで1回の乗車が100円という券もありますので、もしどこかゆっくり行こうかと思われる方は乗り継いで行くとか、意外にバスが使えるなどお感じになられたら、口コミで共有していただけたらと考えております。よろしくお願いします。

## 会長

ありがとうございます。

それでは議題3のその他に移りますが、事務局何かありますか。

## 事務局

次回の会議のお願いをさせていただきます。次回の会議は来年2月14日に予定させていただいております。場所は本日のこちらの会議室で午後2時から開催を予定させていただいております。委員の皆様方にはお忙しい中申し訳ございませんけれども、ご予定いただきまして、ご参加いただきますようお願いいたします。

なお、今後の予定ですけれども、本日いろいろご意見いただきましたことをもとに計画案の修正をさせていただきます。年明け1月4日からパブリックコメントを実施させていただいて、その意見をもとに計画案の修正をしないといけないところは修正を検討させていただきます。その修正案につきまして、2月の会議で皆様方にお諮りをさせていただくような流れになりますので、よろしくお願いいたします。

## 会長

ありがとうございます。それでは主宰者委員としまして、市企画部次長の長谷川委員から何かございましたらよろしくお願いします。

## 委員

本日は企画部長の熊沢が所用で欠席でございますので、代理出席しました企画部次長の長谷川と申します。本日は熱心にご協議いただきまして誠にありがとうございました。

とりわけ「第2次公共交通計画」につきましては、委員の皆様から大変貴重なご意見やご提案をいただきまして、これから一宮市が目指す市民の皆さんにとって便利な公共交通のあり方、方向性、さらには具体的な取り組みを市民の皆さんに分かりやすく、まとめお示しできるようなものにブラッシュアップできたかと感じているところでございます。

それから事務局から説明がありましたが、この計画案をパブリックコメント——市民意見提出制度と言っておりますけれども、そちらのほうに掛けるなど事務手続きがございませぬけれども、この計画に掲げた目標を着実に達成するためにしっかりと進めてまいりたいと思っております。先ほど加藤副会長さんからもご意見がございましたけれども、行政のみならず、地域の皆様あるいは交通事業者の皆様と三者一体となって、それぞれの役割分担をしっかりと認識しながら主体的に取り組んでいくということが大変重要なことであると思っております。大変厚かましいお願いではございますが、引き続きご協力をお願いしたいというふうに思っております。

最後になりますが、今年もあと10日あまりとなりました。委員の皆様におかれましては今年1年大変お忙しい中本会議にご参加いただき、また熱心にご協議いただきましたことを心からお礼を申し上げますとともに、来年も引き続きご協力をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## 会長

ありがとうございました。先ほども出てまいりましたように、この計画については1月4日から2月5日までパブリックコメントを市のほうで行われ、それをやられた結果、市民から意見が出てまいりますので、それを受けた形でまた変えざるを得ないところも出てくると思います。それを2月14日にお諮りをするという形でまいります。

もう1つお願いしたいのは、2月に皆さん方に了承を得られたら出来上がるのですが、これは総論に近い部分のものです。5月に公共交通会議で計画策定という部分が出てまいります。そこでお願いしたいのは、5月には特に市民委員・交通事業者の方々、自分の立場でこうしたらもっともっと客は増えるんじゃないだろうか、あるいは尾西地域はもっとこうしたらいいんじゃないか、例えば時間を1時間じゃなくて30分にしてくれとか、大きくするとか伸ばすとか、あるいは駅をもっとたくさんにしてくれとか、今までどちらかという福祉の関係で、老人をいかに増やすかという発言が多かったと思います。もう1

つ考えなきゃいけないのは、観光客とか外から来る人だけじゃなく、中にいる人も、高校生・中学生・小学生・幼稚園児・保育園児がいるわけです。その子たちがどうやったら利用できるか。そうやって小さい頃から乗ることが分かればだんだん大きくなりますから、10年後20年後に繋がっていくんじゃないか。そのためにはどうしていったらいいか、子どもは減るのですが、そういうこともこれからもっともっと必要になるんじゃないかと。

2月の会議ではこれについては長く掛かったら申し訳ないと思いますが、そんなに掛からないと思いますので、5月に向けてそれぞれの立場でご意見等を求めたいと思います。全部が5月の会議で反映できるとは思いませんけれども、自分たちもこの会議に参画しているんだという認識を持ってもらうためにもそういうことは必要じゃないかと考えておりますので、次回の2月14日は意見を言ってもらいますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

今年もあと10日です。来年に向けてそれぞれ健康で良き年がくることを祈念いたしましてこの会議を終了します。今日は長時間にわたりましてありがとうございました。